

「日本の四季」全6面公開！
宮本三郎戦後の代表作、



宮本三郎美術館企画展

春 夏 秋 冬

～宮本三郎を中心に～

2022.3.19[±] - 6.19^日

開館時間：9:00-17:00 (入館は16:30まで)
休館日：月曜日(3/21は除く)、3/22、5/6
入館料：一般 300円 (20名以上の団体は250円)
※高校生以下無料 ※こまつミュージアム・パス対応
※障がい者手帳等お持ちの方、および「ミライロID」アプリ提示者と介助者1名は無料
※コロナウイルス感染状況により会期や開館時間に変更場合があります



小松市立

宮本三郎美術館

923-0904 石川県小松市小馬出町5 / TEL: 0761-20-3600



上から《日本の四季「酪農」(春)》(部分)、《日本の四季「地曳網」(夏)》(部分)、《日本の四季「収穫」(秋)》(部分)、
《日本の四季「伐採」(冬)》(部分) 1946年 / 宮本三郎美術館蔵

春 夏 秋 冬

～宮本三郎を中心に～

宮本三郎の代表作《日本の四季》は1946年、進駐軍から白雲楼ホテルの食堂の壁画制作を依頼され、わずか1ヶ月半余りで描き上げた大作です。

「日本の四季」という進駐軍から与えられた画題で宮本が描いたのは、伝統的な花鳥風月ではなく、ふるさとからイメージした農山漁村の四季の景色と、その中でひたむきに働く日本人の姿でした。戦争で荒廃した国土の復興を願って描いたとも読み取れるこの作品からは、穏やかで懐かしい日本の四季を感じられるのではないのでしょうか。

宮本が、南方従軍中の思い出話として、「四季がないところの寂しさってひどいもんだよ」「日本に四季があることはこれは、すごいしあわせなことだ」と弟子の西嶋俊親氏に語ったという逸話が残っています。

本展では、宮本三郎の代表作《日本の四季》全6点を中心に、四季折々の情景を感じられる宮本作品の他、郷土の画家が描いた四季にまつわる作品もあわせて展示します。また、県内コレクターのご協力のもと宮本三郎《西貢の女》を初公開いたします。



コレクター秘蔵の
作品を初公開!

5/18(火)
国際博物館の日
当日ご来館の方に
缶バッチ
プレゼント!

- 1.《海女》1934年、2.《ひまわり》1961年頃
- 3.《小松風景》1968年頃 / 1.2.3. 宮本三郎美術館蔵
- 4.《西貢の女》(部分) 1945年 / 個人蔵

学芸員によるギャラリートーク 【申込不要】

3/27(日)、4/23(土)、5/22(日)、6/11(土)
いずれも11:00～

※コロナウィルス感染状況により中止になる場合があります

同時開催

企画展

かおと顔

宮本三郎の



《頭飾の女》1959年 / 個人蔵

2022 3/19(土)
→6/19(日)

開館時間: 9:00-17:00 (入館は16:30まで)
休館日: 月曜日(3/21は除く)、3/22、5/6
入館料: 無料

小松市立
宮本三郎ふるさと館

923-0982 石川県小松市松崎町16-1
TEL 0761-43-3032



次回展のご案内 ▶7月2日(土) - 9月25日(日)◀

本館・宮本三郎美術館「宮本三郎先生のやさしい絵画教室」
分館・宮本三郎ふるさと館「あなたは どうみる? ～不思議な絵の魅力～」

小松市立



宮本三郎美術館

〒923-0904 石川県小松市小馬出町5 TEL:0761-20-3600



[宮本三郎美術館]交通のご案内

- JR小松駅より徒歩15分
 - 北陸自動車道小松I.C.より車で10分
 - バス:「市役所前」又は「西町」下車、徒歩5分
- ※駐車場は、周辺の市営駐車場をご利用ください